

平成 28 年度大阪府立大阪南視覚支援学校 第 1 回学校協議会 記録

- 1 日 時 平成 28 年 6 月 9 日 (木) 14:30～16:00
- 2 場 所 大阪府立大阪南視覚支援学校 校長室
- 3 次 第
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 協議会委員の紹介
 - (3) 協議会事務局員の紹介
 - (4) 平成28年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校協議会について
 - (5) 協議会長（議長）選出 （委員の互選により選出）
 - (6) 協議
 - (7) 報告
 - (8) 次回の予定について
 - (9) 准校長謝辞
- 4 協議事項
 - (1) 平成28年度 学校経営計画及び学校評価について
 - (2) 平成28年度 学校概況について
- 5 報告事項
 - (1) 学習指導要領の改訂等の国の動向について（教頭）
 - (2) 全国弁論大会について（指導部長）
 - (3) 使用教科書の採択について（首席）
- 6 協議内容
 - (委員) 現在、あん摩マッサージ、はりの校外臨床実習を実施しているか。
 - (事務局) あくまで実習ということで、数か所、外部で実施しているが、各学科によって実情は異なっている。保健療科・理療科では、校外での臨床実習を計画的に実施している。理学療法科は病院や老人保健施設等で実習を行うことが単位認定上必要である。柔道整復科は校内で行う見込みだが、校外実習も検討はしている。学生にとっては、施設によって異なる経験が得られ、臨床力を高める良い機会になっている。
 - (委員) 養成系専門学校では、基本的に校外実習は行われていないが、将来的には、学生の臨床力を高めるために、校外臨床実習をカリキュラムに位置づけていかなければならないと思う。現在、カリキュラムの見直しが厚生労働省で進められており、来年からは、校外臨床実習が認められるのではないかと感じている。
 - (委員) 職業自立 100%は、ハードルが高いのでは。
 - (事務局) 国家試験合格 100%を達成したのは6年ぶりである。引き続き目標値としていきたい。就職ともマッチングさせていきたい。
 - (委員) 児童生徒数が減少する中、高等部から専修部に進学するケースが見られ、良い傾向だと思う。

(事務局) 入学者数は、毎年増減があり、波がある。毎年、広報活動として、高等学校や福祉関係、ハローワークなど外部機関に働きかけており、今年も計画している。増減の要因はつかめていないが、今年度は校名も変わるので、新しいパンフレットを作成し、大々的に配付して広報活動を充実していきたい。

(委員) 大阪北視覚支援学校と大阪南視覚支援学校の連携はどのようになっているのか。生徒を育てていくための専門性を教員が習得するには相当な時間もかかる。今後の方策などは考えられているのか。

(事務局) 一つは地域支援である。現在、本校教育支援室と大阪北視覚支援学校との情報共有を行っている。大阪視覚障がい教育研究会を行い、ネットワークを築いていく。大阪北視覚支援学校と本校との間で人事交流も始まっていくので、これから連携が進むと思う。

(委員) お互いの教師力が高まっていけばと思う。

7 次回の予定について

第2回

- ・内 容 平成 28 年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について
- ・開催日 11 月を予定